



住みよい幸せな国づくり

NPO 法人
日本・デンマーク
生活研究所【会報】
第4号(2012年 文月)
発行人 千葉 忠夫

* デンマーク生活便り ③ *

保育ママ DAGPLEJEMOR

理事長 千葉忠夫

デンマークでは0歳から3歳までが保育児であり、3歳から6歳までが幼稚園児と明確に区別されている。これらを管轄する省も日本のように文科省、厚労省と分かれてはおらず、いずれも就学前教育は文部省が関与しないで社会省に統一されている。

私たち人間の人格形成はその約80%が0歳から6歳までの間に為されると認識されている。このことに重きを置いたデンマークは何処の家庭で子供が生まれても必ず保育と幼稚園の場は政府によって保障されている。その国の資源、将来を担う国民の基礎作りは保育・幼稚園児からしっかりすべきなのである。この大事な時期に読み書きや算数などを無理やり教えるよりも情緒面を自然に発達させるようにすべきである。情緒が正常に発達していれば読み書きも自然と無理なく教えることが出来るのである。この順序が逆になると子供の正常な発達を妨げることになる。

少子化で悩む日本とは異なり女性の国政への参加(国会議員と大臣の約40%は女性)が功を奏し、産休、育休、職場復帰などを立法充実させた。前述のとおり保育児、幼稚園児の場が国民に提供されていることは少子化を防ぎ(出生率は現在約1.8%)国の資源の確保へとつながるのである。何よりも社会福祉国家を維持する人的資源の育成は国にとっての最大の利益となると言えよう。

さて、3歳児までの保育は、保育園と保育ママ(その割合はおおよそ半々)によって為されている。保育園、保育ママに託される保育児は産休が一年間あるにも拘わらず、母親の早期職場復帰などのため生後3ヵ月後くらいから保育ママへというケースもある。保育園の職員は保育士ではなく生活指導教諭の有資格者であるが保育ママ(保育パパも存在する)はある一定の条件はあるものの特にその資格は問われない。

生活指導教諭とは第二次大戦後デンマークで女性の社会進出(約75%)が進みそれまで家庭にあった子供たちが保育士に、知的しょうがい者たちは知的しょうがい者指導員にという二つの異なった教育を受けた職員に生活支援を受けていたが、これらを統一して社会生活指導員という教育に一本化した。その後、社会生活指導員(SOCIALPÆDAGOG)

は社会が取れて単に生活指導教諭(PÆDAGOG)と呼ばれるようになった。要するに PÆDAGOG は家庭の父母に代わって幼児、児童、青少年やしょうがい者生活指導を担当する職種である。

ところで、保育ママは市の社会課からその保育ママとしての条件を満たせば認可され、市から給料を貰う准公務員である。保育ママの認可の条件は1)子育ての経験があること。2)犯罪歴が無いこと3)最大5人までの保育児が遊びまわられる家屋(部屋)と庭を有することくらいでいたって簡単である。

市に採用が決まった保育ママは市が実施する研修を受けた後、保育ママ開始時には市から子供のおもちゃ、おむつ交換台、乳母車などが支給される。保育児は通常午前6時半から午後4時半ころまでそれぞれ保育園あるいは保育ママの家に託される。ちなみに保育園の生活指導教諭と保育ママの給料には大差が無く給料は日本円にして月40万円程度である。保育園、保育ママ宅での一日の動きは朝食を食べた後自由に遊ばせ散歩などを頻繁に行い、昼食後はどんなに寒くても(気温が零下10度以下にならない限り)屋外で昼寝をさせるのである。これは一般家庭の乳幼児も同様に年間を通し屋外で昼寝をさせている。丈夫な子供を育てる秘訣だ。保育ママたちは週1回自分が受け持っている保育児を連れて町の集会所のようところに集まり意見交換をする。週1回の集まりで子供たちはより多数の子供と接触することが出来る。自分の保育ママが病気になった日は他の保育ママのところに回されるので、子供たちが事前に知り合っておくと役に立つ制度だ。

子供が3歳になると幼稚園に通園開始となる。ほとんどの幼稚園に時間割りは無く全く自由に遊ばせているといっても過言ではない。子供たちは民主主義を代表する第一の言葉「自由」を身体で会得するわけだ。



写真提供: 金川仁子

※次頁に続く

※(前頁からの続き)

ただ、何をやってもいいという自由ではなく、絶えず責任も取られるのである。自由に遊んだ後は遊んだおもちゃなどの後片付けをしっかりさせるのだ。子供同士が喧嘩を始めても生活指導教諭は直ぐ割って入ることをせずに子供たち自身が喧嘩をやめられるまで待つ姿勢でいる。もっとも殴り合いや棒切れなどを持ち出し危険な場合は当然止めに入る。危険を伴う工作に使用するナイフ、のこぎり。ハンマーなども子供たちはいつでも自由に使えるようになっている。危険な道具を自由に使わせて怪我をすれば子供たちはその危険性を知るのである。道具を危険だからといって使わせない日本とは大違いである。庭で木登りも自由にさせる。落っこちて痛い目にあえば以後注意するようになるのである。子供を過保護に育てることは子供の自然な成長を妨げるので良くない。

森の幼稚園という言葉を目にすると思うのが「森」という自然の中で子供たちは動物を飼育したりする生活を通しのびのびと自然に、自由に成長していくのである。町の中にある幼稚園には自然が無いので週1回は森で過ごす日を決めているところも多々ある。

社会福祉国家においても保育園や幼稚園は有料でかかる総費用の3分の1は保護者負担である。ちなみに日本円に換算すると保育児は月約4万円、幼稚園児は月約3万円が保護者負担となる。しかし保護者の収入によって割引制度や無料となることも可能である。

幼稚園を終わる6歳児はその後国民学校の1年生ではなく0年生に進学する。0学年を別名「幼稚園学級」とも呼び以前は義務ではなかったが2009年から義務となった。【デンマーク生活便りは「ゆりかご以前」から「墓場以降」まで続きます】

☆第1回研修塾(八幡平)総まとめの様子



班別に前日深夜まで話した結果をまとめました。

* 八幡平研修塾★総まとめ報告 *

第一回研修塾卒業生 若林直樹

【日欧文化交流学院2012年度秋コース卒業】

☆2012年5月20日9:00～研修総まとめ

第一回の研修塾では、最後にグループワークを通して日本が抱える5つの問題点と解決策を出しました。

4つの班に分かれ、それぞれが出した問題点とその解決策を検証した結果、第一回研修塾において出した問題点と解決策は以下の通りであります。

*問題点①教育の今後のあるべき姿

→知識重視より人格教育ができること。自己決定のできる教育、社会人教育、生き方教育、フォルケホイスクーレを日本に作る。ジェンダー教育、職業専門教育、幼児教育をすること。

*問題点②柔軟性のある社会システム

→人間の触れ合い、やり直しのきく社会、税制の改革、うつ病に伴う自殺問題対策。

*問題点③エネルギー問題

→脱原発から自然エネルギーへと変えていくこと。国民産業としての育成。自動販売機やスーパー、コンビニ、パチンコなどに使っているエネルギーを環境に配慮した使い方をする。

*問題点④食料自給率

→農業の活性化、適量の食事、農業流通の改革、39%という日本の食料自給率をあげる。

*問題点⑤官僚主導の政治

→企業献金の廃止、国会議員定数削減、選挙制度の改革、道州制、地域の中で分野別委員会の発足をすること。

この研修塾を通して出した5つの貴重な解決策を、ただの話し合いをした研修で終わらせてはなりません。この研修塾で学んだことを日本各地で参加者それぞれが意識して実践していくこと、また伝えていく必要があると思います。

日本の全国民が日本を「住みよい幸せな国」と思える、真の民主主義国家「主権在民＝自由＋平等＋博愛(共生＋連帯)」へと向かう第一歩としましょう！！

第一回研修塾は、岩手山の麓にある東八幡平という大自然に囲まれた環境の中で開催されました。日本を変えたいと思う様々な世代の参加者と出逢うことができ、このように学びを深めることができたことを大変嬉しく思います。

第一回研修塾の報告と結果を担当させて頂きましたことにも感謝し、日々信条を持って実践していこうと思います。今回の研修塾に参加された皆様 それぞれの住む場所は違えど、日本に住んでいる一人の国民に変わりはありません！！共に力をあわせていきましょう。またお会いできる日を楽しみにしております。

* 沖縄からの活動報告 *

沖縄 村田涼子

4月21日～30日まで、沖縄本島を皮切りに、宮古島、石垣島まで出かけ「幸せな国づくりデンマークに学ぶ」の講演会を開催致しました。ラジオの収録も合わせると9回の講演会となりましたが、千葉忠夫理事長の精力的な活動行動には驚くばかりでした。

沖縄には先人が生み出した「ゆいまーる」や「いちやりば ちょうでー」という言葉があり、デンマークの福祉国会の考え方や似たような文化があります。「ゆいまーる」はいわば助け合い=相互扶助のことで「いちやりば ちょうでー」は出会った人たちは兄弟姉妹だといって、他所から来る人を受け入れる人間的なおおらかさがあります。そんな沖縄ですから、千葉理事長のお話される「幸せな国づくりデンマークに学ぶ」は聴講された皆さんの心に深く響き、共感する内容となりました。

民主主義の方程式を具体的に、ひとり一人に身近な距離感でお話される講演会は、聞く側の受け手だけの一方通行ではなく、お互いのコミュニケーションを通して、いろんな考え方があるのだと知る良い機会となりましたし、何よりも〇か×ではなく、自分の思っていることが言えること、少数意見も尊重するという、こうした個々の考え方の違いを認め合いながら、お互いに折り合いがつけられる力は、教育のあり方にあるのだと実感した講演会でした。参加者からは「競争教育から、支え合いを重視した教育に」民主主義の基本である主権在民は「自ら投票に行き政治を変えることから」「自分の意識改革から始める」といった意見が出され、国民一人一人が主権者とした、真の民主主義のあり方を問い、自ら変革していく力が問われているように思いました。



Mr.Chiba@Naha airport

* 日本を憂う ③ 政治家の資質 *

理事 川島正仁

「政治」とは、その言葉のとおり「正しいことを治める」ことである。そしてその事業を推進する人が「政治家」なのである。しかし現実にはそれがまったくなされないどころか、逆に彼らは自分たちの「利益」のためだけに働いているように思えて仕方ありません。みなさんはどう思いでしょうか？

私は、政治家の資質は「人間性」だと考えます。人への思いやり、自分への戒め、個人への「益」を考えず、常に国民、市民、国家、コミュニティのことを第一に考え、努力、精進していくことが政治家の勤めではないかと思えます。私たちが「彼ら」だけに責任を負わず、自らもよく考え、努力しましょう。

* 真の民主主義とは ③ *

理事 前田正志

今回は「自由」を考えてみます。人間も動物ですから、本来は誰からも束縛を受けず本能のおもむくままに生きられるはずですが。

自由とは、他から強制・束縛・支配されないで自分のことを自分で決定できる状態といえましょう。

漢語にも「自由」という言葉はありましたが、「勝手」や「ワガママ」といったマイナスの意味を持つ言葉だったようです。

人間は一人では生きられない群れの動物です。共同生活をする以上は群れの掟、ルールが必要になります。一部の構成員のワガママ勝手に同じ集団の他者に害を与えたり、集団全体が振り回されて危機にさらされたのでは意味がありません。

そのようなルールが過剰に個人を縛りつけ、あるいは危害を与えるような状態はあってはいけません。人間は対等ですので集団の利益のために一部を犠牲にすることはあってはならないか、最小限にとどめるべきです。

様々な局面で多様な選択肢のなかから最善の選択をする「自由」があるかも大きな問題です。

お金や時間、様々な要因によって選択肢が限られてしまいます。自由への束縛という犠牲は特に最も立場の弱い人が強いられることが多いのです。もう一度ご自分の周囲の家庭や職場、社会を見回してみませんか。

【第3回の実践】

自分の属する集団に自由があるか点検してみよう。

☆ 第1回研修塾(八幡平) ☆

テーマ『社会福祉先進国デンマークに学び

明日の日本を論ずる』

平成24年(2012)5月18日～20日

八幡平ハイツ(岩手県八幡平市)に於いて第1回研修塾(短期宿泊型フォルケホイスコーレ)が千葉理事長の主導のもと、デンマークの関連先“Nordfyns Folkehøjskole”「日欧文化交流学院」のモーンズ・Godballe 校長を講師としてお迎えし開講しました。21名の参加があり、白熱した議論を交わし、ワークショップでも時間をかけて討論し、充実した研修塾となりました。(次号に及川氏の感想文を掲載予定)



☆ 第2回研修塾(札幌市定山溪) ☆

2012年7月6日(金)～7月8日(日)

『ジャパンケア/ドリーム研修センター』にて開講予定です。

❖ 今期にご尽力くださった会員様のご紹介 ❖

ご寄附

♡飯田總夫氏 ♡末廣貴生子氏 ♡川島正仁氏

講演会開催

♡鹿児島 道免明美氏 ♡姫路 中川芳美氏

♡鹿児島 道免芳隆氏 ♡沖縄 村田涼子氏

第1回八幡平研修塾開催支援

♡岩手 及川忠人氏 ♡みちのく愛隣協会

♡カナンの園 皆様ありがとうございました。

☆ 勉強会参加者募集 ☆

～・日本を住みよい国にするための方程式～

5月11日千葉市生涯学習センターにて当NPO法人理事長千葉忠夫による対話型セミナーを開催いたしました。今後は勉強会も開催の予定しております。会場は東京・千葉などを中心に、千葉忠夫理事長が帰国中にはデンマークの最新情報を聞きながら進めます。千葉(稲毛)では毎月第二金曜日午後6時半より開催。参加ご希望者は下記までお問い合わせください。

TEL:043-245-2090 Fax:043-245-2091(川島)

E-mail: info@masahito-k.net



千葉市稲毛での勉強会

☆ 新役員紹介 ☆

平成24年度通常総会を5月12日(土)東京都中央区TKP小伝馬町ビジネスセンター会議室にて開催いたしました。定款により役員全員が任期満了となり改選が行われ、新理事8名と新監事の役員9名が決まり、旧理事1名と旧監事が退任いたしました。

☆千葉忠夫理事長(再任) ☆太田克彦副理事長・事務局長(再任) ☆前田正志会計担当理事(再任)
☆川島正仁理事(再任) ☆田村啓子理事(新任)
☆砂押櫻子理事(新任) ☆久保吉丸理事(新任)
☆野屋敷いとこ理事(再任)
☆児玉照男監事(新任)
☆松館昌典理事(退任) ☆山本真由美 監事(退任)

総会後、神田「桃園」にて懇親会を開催いたしました。

編集後記：(小さな幸せ便り)

一人で四苦八苦だった広報に編集委員として中川芳美さんと砂押櫻子さんが参加し「花のほっこり編集部❖」誕生で幸せ!! 八幡平研修塾では愛隣荘で山菜料理にバーベキューにてんぷらお刺身等・・盛りだくさんのおもてなしを受け感謝感激♡岩手山に挨拶しながら桜や水芭蕉見学・地熱発電視察と思いがけないミニツアーに繰り出し歓声の連続!! 女性部屋では夜中までお喋り、でも岩手山と桜を愛でながら温泉露天風呂に浸かり、しっかり若返りました? 盛岡駅前ではさんさ踊りも♪岩手賢人の人間性に学ぶこと多く、幸せ太りで感無量かな! 編集責任者:野屋敷いとこ

発行所

〒274-0822

千葉県船橋市飯山満町 2-515-2

Tel:047-462-4358

NPO法人ホームページ

<http://home.d02.itscom.net/denmark/>

オフィシャル・メールマガジン更新手続中
ご希望の向きは katze2009@live.jp まで
「メルマガ希望」とお申し出願います。

